

香川県生協連 News 2020 Vol. 27

香川県生活協同組合連合会

〒760-8504 香川県高松市新北町14-27

電話(087)835-6815

第45回通常総会開催



すべての議案 可決承認

2020年6月24日、コープかがわ本部会議室において第45回香川県生活協同組合連合会通常総会が行われました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面議決を中心で開催し、第1号議案から第3号議案まですべての議案について可決承認され、無事に総会を終えることができました。総会での木村会長の挨拶と香川県危機管理総局から安全安心課の中塚課長からお寄せいただいたメッセージを紹介いたします。

協同の力で安心して暮らせる地域社会づくりを



香川県生協連合会会長
(コープかがわ理事長)
木村 誠

2019年度を振り返ってみますと、自然災害の脅威を実感させられた年でした。特に、台風19号は全国に大きな被害をもたらしました。被災地の生協では復旧活動に全力を挙げて取り組みました。また、全国の生協で募金活動に取り組んで、3億円を超える支援金が寄せられました。協同の力を心強く思いますし、一日も早い復興を願っています。

そして年が明けてからは新型コロナウイルスによって、社会生活が大きく変わってしまったように思います。それぞれの生協の事業や組合員活動にも大きな影響があったと思いますが、引き続き、情報交換をしながら、助け合いながら、乗り越えていきたいと思っています。

災害の発生時も、また今回のコロナ騒動においても実感させられますが、結局は、一人で生きていくわけではなく、みんなで助け合って生きていくことが、必要なのだと思います。そして、そうした助け合いの気持ちを育んでいくことが、生協運動の大きな役割ではないかと思ったりします。

これからも、生協どうし、また役職員どうし協力し合って、安心して暮らせる地域社会づくりを進めて参りましょう。今年度もよろしくお願い申し上げます。



消費者活動の中核組織として



香川県危機管理総局
くらし安全安心課
課長 中塚久善様のメッセージ

香川県生活協同組合連合会におかれましては、日頃より、会員生協間の連絡調整や教育事業の実施等を通じて、県内の生活協同組合の円滑な事業活動の遂行に指導的な役割を果たしておられますことに、深く敬意と感謝の意を表します。また、新型コロナウイルス感染症では、対応に追い付いていない皆様のご尽力もあり、国内では、ひとまず感染拡大の大きな波を収束の方向に向かわせることができました。しかしながら、今後、第二波・第三波に備えた長丁場の取組みが必要ですので、皆様には引き続き、ご理解、ご協力をお願いいたします。

さて、近年、経済のグローバル化や商品・サービスの多様化、インターネットの普及等による取引の複雑化などにより、私たち消費者を取り巻く環境が大きく変化しており、県に寄せられる消費生活相談は、ここ数年5千件台で推移し、相談内容は多様化しています。こうした中、県では県民の皆様が安全・安心な消費生活を送ることができるよう、不適正な表示や不当な取引を行う事業者に対して、食品表示法や景品表示法等の法令に基づき、指導等に努めています。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、消費者庁においては、予防効果を標ぼうする商品等に対して、表示に関する改善要請等や一般消費者等への注意喚起を行っております。

皆様方には、今後とも消費者活動の中核組織として、消費者に必要な情報の収集・提供はもとより、人と人のつながりを活用したネットワークの構築を図り、身近なところから、県民の皆様が安全で安心して暮らせる社会づくりに、より一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

2020年度活動方針と重点課題

基本目標

- 1 会員各生協が強化されること、効率的経営の実現で経営強化が行われること
- 2 生協の社会的認知度が高まり、期待される役割が果たせること

重点課題

- ① 理事会を中心とした機関運営を強めます
- ・ 県連理事会が意思決定機関であるとともに、会員生協のトップ間で情報交換ができる場として、積極的に機能を発揮します。
- ・ 会員生協の状況把握に努め、発展健全化に関して、情報収集や提供機能を果たします。

② 増大する生協への期待に応え、対外的な代表窓口機能を強めます

- ・ 消費者問題等に取り組み、消費者団体としての県連の機能を果たします。
- ・ 消費者団体として各種審議会、委員会等に参加し、意見を伝え反映に努めます。
- ・ これまでの諸団体との連携を継続し、平和、環境、福祉への取組みを進めます。
- ・ また、SDGsについて理解を深めます。
- ・ 食の安全に関わる意見反映の活動を引き続き強めます。

③ 県連主催会議、及び共催会議、研修会等を年間スケジュールに基づき実施し、会員同士の交流と連帯を強めます

- ・ 生協大会を幹部研修と位置付け、永年勤続表彰や記念講演を開催します。
- ・ 会員生協の役職員を対象とした研修や視察研修を実施します。

香川県連の2019年度活動のまとめ

1. 理事会を中心とした機関運営を強めます。
 - 定期的に理事会を開催し、経営概況等についての共有化や情報交換を行いました。
2. 増大する生協への期待に応え、対外的な代表窓口機能を強めます。
 - 行政や関係諸団体の審議会、委員会などに参加し、消費者団体として意見を伝え反映に努めました。
 - 第35回中四国生協・行政合同会議を開催し、みんなが安心してらせる地域づくりを目指して、SDGsの視点で行政と生協とが一緒に取り組めることについて話し合いました。

<第35回中四国生協・行政合同会議>



2019年8月28日に開催し、中四国9県より、総数68名(行政15名、生協関係者53名)の方の参加をいただきました。

3. 県連主催会議、及び共催会議、研修会等を年間スケジュールに基づき実施し、会員同士の交流と連帯を強めます。
 - 生協大会では、勤続15年表彰や会員生協の取り組み報告を行いました。記念講演として、生活協同組合コープおきなわより、理事長 山本靖郎様をお招きし、「沖縄から考える、日本の平和と民主主義」というテーマでお話いただきました。
 - 会員生協の役職員を対象に「クレーム対応研修」を実施し、基本的なクレーム対応の仕方について学びました。視察研修については、広島県生活協同組合連合会を訪問し、核兵器を取り巻く情勢や広島復興について学び、改めて平和の大切さについて考える機会になりました。

研修事業の活動報告

◆生協大会

勤続表彰や会員生協の取り組み報告を行いました。記念講演では、コープおきなわの理事長 山本靖郎様より「沖縄から考える、日本の平和と民主主義」というテーマで講演いただきました。



会員生協からは、四国学院生協より「学生の消費生活に関する実態調査」について、コープかがわより「おたがいさまの活動」について報告されました。歴史と現状についてお話をいただきました。

◆視察研修

広島県生活協同組合連合会を訪問し、核兵器を取り巻く情勢や広島復興についてお話をお伺いし、改めて平和の大切さについて考える機会となりました。



お二人の方に講師としてお越しいただき、(公財)広島平和文化センター 常務理事の岩崎様より「核なき世界の実現に向けた市民社会の取り組み」について、広島市郷土資料館館長の高野様より「広島の復興のあゆみ」についてお話をいただきました。

◆クレーム対応研修

㈱エスの酒井もえ氏を講師に迎え、クレーム対応法についての講義やロールプレイングを交えて、基本的なクレーム対応の仕方について学びました。



<参加者の感想>

- ・日々の業務の中で、電話でのクレーム対応はすぐに答えを急ががちになりますが、改めて相手の話を聞くということが大事だと実感しました。
- ・自己流で行っていたクレーム対応に声のトーンや表情の部分がとても勉強になりました。

2019年度決算報告

貸借対照表

資産の部		負債・純資産の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未払税金	80,000
普通預金	3,107,380		
定期預金	12,300,000	流動負債計	80,000
未収金	762	負債の部合計	80,000
流動資産合計	15,408,142	純資産の部	
【固定資産】		【会員資本】	
(無形固定資産)		会員出資金	2,880,000
電話加入権	50,300	法定準備金	4,000,000
(投資その他の資産)		任意積立金	5,382,895
関係団体出資金	183,000	当期末処分剰余金	3,298,547
固定資産合計	233,300	(うち当期損失金)	(1,320,650)
資産の部合計	15,641,442	純資産計	15,561,442
		純資産の部合計	15,561,442
		負債・純資産の部合計	15,641,442

剰余金処分

香川県生活協同組合連合会

(単位:円)

I. 当期末処分剰余金 3,298,547

II. 次期繰越剰余金 3,298,547

損益計算書

科目		金額	2019年予算	予算比	前年比
【会費収入】					
会費収入	2,392,000	2,384,600	100.3%	100.3%	
会費収入計	2,392,000	2,384,600	100.3%	100.3%	
【事業経費】					
事務委託費	1,584,000	1,584,000	100.0%	100.0%	
通費	107,033	105,000	101.9%	101.9%	
旅費交通費	58,227	150,000	38.8%	38.8%	
教育文化費	1,202,636	1,300,000	92.5%	92.5%	
渉外費	15,400	30,000	51.3%	51.3%	
会議費	72,528	100,000	72.5%	72.5%	
事務消耗品費	13,878	5,000	277.6%	277.6%	
調査研究費	420,941	200,000	210.5%	210.5%	
租税公課	0	1,000	-	-	
会費	158,140	160,000	97.6%	97.6%	
雑費	8,126	10,000	81.3%	81.3%	
予備費	0	10,000	-	-	
事業経費計	3,638,909	3,655,000	99.6%	99.6%	
事業損失金	1,246,909	1,270,400	98.2%	98.2%	
【事業外収益】					
受取利息配当金	4,059	5,000	81.2%	81.2%	
雑収入	2,200	5,000	44.0%	-	
事業外収益計	6,259	10,000	62.6%	62.6%	
経常損失金	1,240,650	1,260,400	98.4%	98.4%	
税引前当期損失金	1,240,650	1,260,400	98.4%	98.4%	
法人税等	80,000	80,000	100.0%	100.0%	
当期損失金	1,320,650	1,340,400	98.5%	98.5%	
前期繰越剰余金	4,619,197				
当期末処分剰余金	3,298,547				